

安全性データシート

改定日: 2023年3月29日

前作成日: 2020年10月15日

SDS番号: 283B-14

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

787 スライディング・ペースト (バルク)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 高温、極圧対応の高粘性、固形潤滑ペースト。酸素システムには使用しないでください。

使用上の制限: 情報なし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

重篤な目の損傷、区分 1, H318

皮膚の炎症、区分 2, H315

生殖毒性 1B, H360FD

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報: H318

重篤な眼の損傷。

H315

皮膚刺激。

H360FD

生殖能への悪影響のおそれ。胎児への悪影響のおそれ。

<b>使用上の注意：</b>	P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
	P264	使用后、顔、手、接触した皮膚を充分洗浄してください。
	P280	保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P302/352	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
	P332/313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
	P305/351/338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P310	ただちに医師に連絡すること。
	P332/313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
	P308/313	暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
	P362/364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
	P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

**補足情報：** プロの使用者のみに限定

### 2.3. その他の危険性

工業的用途ではなし。グラファイト、タルク、二硫化モリブデンは混合物から分離したり空気で運ばれたりしないので、通常の使用では危険はありません。

## セクション 3： 組成、成分情報

### 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号	GHS分類	特定の濃度制限、Mファクター、ATE
ホウ酸	3 - < 5.5	10043-35-3	生殖毒性 1B, H360FD (≥ 5.5 %)	ATE (経口): 3,450 mg/kg ATE (経皮): > 2,000 mg/kg ATE (吸入、粉塵): > 2 mg/l
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	1 - 4.9	39464-69-2 ポリマー	眼に対する重篤な損傷性 1, H318 皮膚刺激性 2, H315	ATE (経口): 42,300 mg/kg
メタノール	0.1 - 0.4	67-56-1	引火性液体 2, H225 急性毒性 3, H331, H311, H301 STOT 単回暴露 1, H370	STOT SE 1; H370: C ≥ 10 % STOT SE 2; H371: 3 % ≤ C < 10 % ATE (経口): 100 mg/kg ATE (経皮): 300 mg/kg ATE (吸入、蒸気): 3 mg/l
その他の成分:				
グラファイト	20 - 30	7782-42-5	分類されていません*	ATE (経口): > 2,000 mg/kg
タルク	10 - 15	14807-96-6	分類されていません*	入手不可
二硫化モリブデン	1 - 5	1317-33-5	分類されていません*	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 16,000 mg/kg

\*職場での暴露限界のある物質。  
H(危険)ステートメントの全文：セクション2.2および16を参照。

分類基準： \* 労働安全衛生法  
\* 毒物および劇物取締法  
\* GHS, 1272/2008/EC, REACH

## セクション 4： 応急処置

### 4.1. 応急処置情報

**吸入：** 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。

**皮膚への付着：** 石鹸水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

**目に入った場合：** 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

**呑み込んだ場合：** 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

**応急手当を行う人の保護：** 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

### 4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)

目に入ると激しい刺激を与えることがあり、火傷、皮膚の炎症を起こす可能性もあります。高濃縮蒸気は目と呼吸器系の炎症、時にはめまいや吐き気を起こすことがあります。

### 4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

## セクション 5： 火災時の処置

### 5.1. 消火剤

**適切な消火剤：** 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡、水霧

**不適切消火剤：** 大量の水噴射

### 5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

**有害な燃焼生成物：** 二酸化炭素、一酸化炭素、硫化物 (SO<sub>2</sub>) リン酸化物、三酸化モリブデン。

**その他の危険性：** 既知の影響なし

### 5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

## セクション 6： 漏出時の処置

### 6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

### 6.2. 環境に対する注意

条件は特になし。

### 6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料 (砂、おがくず、クレー等) で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。注意 - こぼれた後床が滑りやすくなっているかもしれません。

### 6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

予防策は特になし。飲食や喫煙の前に手を洗ってください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

熱や湿気のない所に保管してください。

**7.3. 具体的な最終用途**

高温、極圧対応の高粘性、固形潤滑ペースト。アプリケーションの詳細情報については製品取扱説明および製品データシートを参照してください。

**セクション 8: 暴露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
ホウ酸	N/A	N/A	(吸引可能) (吸引可能)	2 STEL: 6
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフオスフェート	N/A	N/A	N/A	N/A
メタノール	200	260	200 (皮膚) STEL: 250	262 328
グラファイト	N/A	0.5 (吸引可能) 2 (総塵)	(吸引可能)	2
タルク	(吸引可能) (総塵)	0.5 2	(吸引可能)	2
二硫化モリブデン	(吸引可能) (総塵)	2 8	(吸引可能) (吸引可能)	10 3

**生物学的限界値**

メタノール:

制御パラメータ	生体試料	サンプリング時間	限界値	源泉	注
メタノール	尿	作業終了時	20 mg/l	日本産業衛生学会	-

**8.2. 曝露制限****8.2.1. 設備対策**

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

**8.2.2. 作業員の保護対策**

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください。(例: 欧州規格フイルタータイプ A-P2).

**手袋:** 耐薬品性手袋 (例: 天然ゴム、ネオプレン、あるいはPVC (ポリ塩化ビニル))

**目 / 顔の保護:** 安全ゴーグル。

**その他:** なし

**8.2.3. 環境暴露措置**

セクション6と12を参照。

## セクション 9: 物理的及び化学的性質

## 9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	ペースト	pH	適応せず
色	ダークグレー	動粘	148K cps @ 25° C
臭気	かすかな臭気	水溶性	不溶性
においの閾値	未定	分配係数:n-オクタノール/水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	未定	20°Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	適応せず	相対密度	1,3 kg/l
揮発率%(容量比)	< 2%	蒸気密度(空気=1)	> 1
引火性	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/ 低爆発限界	未定	重量比芳香物含有率(%)	< 1%
引火点	127° C	爆発性	未定
方法	PM閉カッブ	酸化性	未定
自己発火温度	> 200° C	粒子特性	適応せず
分解温度	未定		

## 9.2. その他の情報

なし

## セクション 10: 安定性及び反応性

## 10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

## 10.2. 化学的安定性

安定

## 10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

## 10.4. 避けるべき条件

温度200° C 以上

## 10.5. 配合禁忌薬品

液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。過酸化水素、硝酸カリウム。

## 10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

## セクション 11: 有害性情報

## 11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。

## 急性毒性 -

経口： ATE-混合物、経口: 30,303 mg/kg

物質	テスト	結果
グラファイト	致死量50(LD50)、ラット	> 2,000 mg/kg
ホウ酸	致死量50(LD50)、ラット	3,450 mg/kg
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	致死量50(LD50)、ラット	42,300 mg/kg
二硫化モリブデン	致死量50(LD50)、ラット	> 5,000 mg/kg
メタノール	致死量50(LD50)、ラット	5,628 mg/kg
メタノール	人体致死量	143 mg/kg

経皮： ATE-混合物、経皮: 90,909 mg/kg

物質	テスト	結果
ホウ酸	致死量50(LD50)、うさぎ	> 2,000 mg/kg
二硫化モリブデン	致死量50(LD50)、ラット	> 16,000 mg/kg
メタノール	最小致死量、猿	393 mg/kg

吸入： 高濃縮蒸気は目と呼吸器系の炎症、時にはめまいや吐き気を起こすことがあります。ATE-混合物、吸入限度: 909.1 mg/l

物質	テスト	結果
グラファイト	致死濃度50(LC50)ラット、4時間	> 2 mg/l (粉塵)
ホウ酸	致死濃度50(LC50)ラット、4時間	> 2 mg/l
メタノール	最小致死濃度、猿	1.3 mg/l
メタノール	致死濃度50(LC50)、マウス、134分	79.43 mg/l

皮膚腐食性/刺激性： 接触すると皮膚に炎症を起こす可能性があります。

物質	テスト	結果
グラファイト	皮膚の炎症、うさぎ	炎症なし
ホウ酸	皮膚の炎症、うさぎ	かすかな炎症
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	皮膚の炎症、うさぎ	刺激性
二硫化モリブデン	皮膚の炎症、うさぎ	炎症なし
メタノール	皮膚の炎症、うさぎ	炎症なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 目に入ると激しい炎症、時には火傷を起こします。

物質	テスト	結果
グラファイト	目の炎症、うさぎ	炎症なし
ホウ酸	目の炎症、うさぎ	炎症なし
ポリオキシエチレンオレイルエーテルフォスフェート	目の炎症、うさぎ	激しい刺激
メタノール	目の炎症、うさぎ	炎症なし

## 呼吸器または皮膚の感作：

物質	テスト	結果
グラファイト	皮膚の感作、(OECD 429) マウス	過敏性なし
ホウ酸	皮膚の感作、(OECD 406) モルモット	過敏性なし
二硫化モリブデン	皮膚の感作、(OECD 406)	過敏性なし
メタノール	皮膚の感作、モルモット	過敏性なし

## 胚細胞突然変異原性：

グラファイト、ホウ酸、二硫化モリブデン、メタノール：  
入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。タルク、エイムズ試験：陰性。

## がん原性：

本製品は、国際がん研究機関 (IARC) あるいは欧州化学機関 (ECHA) の規定する発がん性物質を含有していません。

## 生殖毒性：

ホウ酸は動物に胚毒性や胎児毒性を起こします。グラファイト：  
入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。メタノール：不確定なデータ。

## STOT - 単回暴露：

ホウ酸：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

## STOT - 反復暴露：

長期間にわたるグラファイトの大量吸引は気腫や塵肺を起こしています。タルクの粉塵を長時間あるいは繰返し吸引すると、慢性の咳、息切れ、肺の損傷 (肺線維症)、軽い塵肺の症状を起こすことがあります。グラファイト、タルクは混合物から分離したり空気で運ばれたりしないので、通常の使用では危険はありません。グラファイト、メタノール：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

## 吸引性呼吸器有害性：

入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

既知の影響なし

## セクション 12： 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

## 12.1. 毒性

本製品は水生生物、土壌生物に対して低度の有害性を与えるとされています。グラファイト：96時間LC50 (対魚) > 100 mg/l。タルク：24 時間 致死濃度50 (LC50) (対魚) > 100 g/l。

## 12.2. 持続性・分解性

グラファイト、ホウ酸、タルク、二硫化モリブデン：無機物質。メタノール：易生分解性。

## 12.3. 生物蓄積の可能性

ホウ酸：生体内蓄積しません。(log Kow <1)。グラファイト、二硫化モリブデン、メタノール：生体内蓄積しません。

## 12.4. 土壌中の移動性

非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください (セクション9参照)。

## 12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可

## 12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

## セクション 13： 廃棄上の注意

## 13.1. 廃棄処理方法

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。EC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されていません

セクション 14: 輸送上の注意		
14.1. UN番号	ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	適応せず
14.2. UN固有輸送名	ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	無害、規制なし
14.3. 輸送危険性分類	ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	適応せず
14.4. 梱包グループ	ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	適応せず
14.5. 環境への危険性		適応せず
14.6. ユーザーへの特別な注意		適応せず
14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード		適応せず
14.8. その他の情報		適応せず
セクション 15: 適用法令		
15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規		
日本PRTR	クラスI薬品: ほう素化合物 モリブデン及びその化合物	クラスII薬品: なし
その他の国内規制:	消防法:危険物 第4類第3石油類 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物: ホウ酸 危険物(分類: 引火性の物): メタノール 第二種有機溶剤等: メタノール 作業環境評価基準で定める管理濃度: メタノール、200 ppm 毒物及び劇物取締法 劇物: メタノール 大気汚染防止法 特定物質: メタノール 有害大気汚染物質: ホウ酸、モリブデン及びその化合物 土壌汚染対策法 第2種特定有害物質: ホウ酸	



## セクション 16: その他の情報

**略語一覧：** ACGIH: 米国産業衛生専門家会議  
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE: 急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)  
 GHS: 世界調和システム  
 ICAO: 国際民間航空機関  
 IMDG: 国際海上危険物規定  
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL: 最小作用量  
 NOEC: 最大無作用濃度  
 NOEL: 最大無作用量  
 N/A: 該当せず  
 PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質  
 PEL: 許容暴露限度  
 REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)  
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS: 安全性データシート  
 STEL: 短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TLV: 暴露限界  
 vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典：** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（通称 ナイト、NITE）  
 欧州化学物質庁（ECHA） - 化学物質に関する情報  
 スウェーデン化学物質庁（KEMI）  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク（TOXNET）  
 化学分類および情報データベース（CCID）

## GHSによる混合物の分類方法：

分類	分類手順
眼に対する重篤な損傷性 1, H318	算出方法
皮膚刺激性 2, H315	算出方法
生殖毒性 1B, H360FD	算出方法

**関連するH(危険)-ステートメント：** H225: 引火性の高い液体および蒸気。  
 H301: 飲み込むと有毒。  
 H311: 皮膚に接触すると有毒。  
 H315: 皮膚刺激。  
 H318: 重篤な眼の損傷。  
 H331: 吸入すると有毒。  
 H360FD: 生殖能への悪影響のおそれ。胎児への悪影響のおそれ。  
 H370: 臓器の障害。

**その他の情報：** なし

**本改訂によるSDSの変更：** セクション 1.1, 1.2, 2.1, 2.2, 3.2, 8.1, 9.1, 11, 15.1, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。